



大分県土木建築部で推進する土木未来（ときめき）教室の一環として、中津市立耶馬溪中学校の全校生徒と先生を対象に防災教室を実施しました。

参加した生徒の中には、平成24年、29年の豪雨災害のことを覚えている生徒もいたため、実際の災害映像を見て自然災害の恐ろしさを改めて感じていたようでした。生徒全員に「自分の身は自分で守る」ことの重要性を主体的に学んでいただき、防災意識を高めてもらいました。



日時

令和 5年 5月30日(火)

場所

中津市立耶馬溪中学校

内容

防災教室

参加者

中津市立耶馬溪中学校  
生徒 41名、先生10名  
大分県中津土木事務所

【土木未来教室の様子】



こうじょ きょうじょ じじょ  
**公助・共助・自助**

**自助**  
一人一人がしっかり避難対策をし、自分自身で身を守ること  
まげんたいさく  
ちかづかぬまじ

**公助**  
国や県などが対策施設をつくったり、救助をすること  
こくけんたすけ

**共助**  
地域の人たちと助け合うこと  
まちびと

この3つそれぞれをしっかり行うことが「減災」につながるのです。

